

小 松 中 学 校

<令和 7 年度の活動目標>

高齢者や障がいのある方と接する機会をもち、ボランティア活動への理解を高める。様々な活動を通して、思いやりの心を育み、地域社会の一員として、共に協力して生活していくことの大切さを実感させる。

<活動の様子>



<活動の成果>

2 月 12 日（木）、総合的な学習の時間に、かつしかボランティア・地域貢献活動センターのご協力をいただき、車いす体験、アイマスク体験、点訳体験をおこないました。生徒は 3 つの体験のうち、それぞれ 2 つを体験しました。以下は生徒の感想の一部です。

アイマスク体験では、目が見えないというハンデによる恐怖感を感じながらも白杖の方が困っていたら助けたいと思いました。

点訳体験では、身近にあるものにも点字があることを知りました。また点字の基本や打ち方、読む面と書く面などを理解することができました。この機会ですんだことを、将来に少しでも生かせたらと思いました。

車いす体験では、使い方や段差の大変さを学べて良かったです。車いすの人を見かけたら、助けたいです。

また、ボランティア活動の一環として、全学年で清掃用具の点検や花いっぱい運動として、花を植える活動を行い、学校や地域を良くしようとする心を育むことができました。